



さわやか

NO. 52

2017年9月発行

発行：栄区文化協会

<http://sakae-bunkyo.com/>

## 充実と発展を願って

栄区文化協会 会長 西崎 進治

今年度の実質的な活動が始まって半年近くが経ちました。昨年度は、設立20周年、区制30周年の記念事業を会員のみなさまの努力、そして賛助会員、区役所、連合町内会、会場を提供頂いた各施設など、多くの方々のご協力とご支援により、成功させることが出来ました。改めてお礼を申し上げます。

さて、今年度は、次の10年に向けての始まりの年であり、当協会の充実と発展を願い、4、5年先を見据えた中期目標三つを掲げて推進しています。

第一は現在の活動部門の活性化、第二に新分野への進出、第三としては運営の定常化と安定化です。具体的な対策を次に示します。

第一の「現部門の活性化」としては、まず、各事業部、単協等の交流と協力による新企画の創出です。例えば、今年度は区民芸術祭で、写真と陶芸が同一会場で作品発表を行います。双方共に自分たちの持っていないものを得る可能性もありますし、作品を選択し洗練させることもできるでしょう。又、お客様もいつもとは異なる方も観に来られることもあるでしょう。次に、古典芸能・伝統工芸部門の充実です。現在、能楽は謡曲中心ですが、仕舞、お囃子も活動に加えていく。また、琵琶楽は、現在の筑前琵琶に薩摩琵琶を新たに加える。雅楽も取り込みたい。更に、古典芸能の鑑賞会と云った若者や初心者も参加しやすい団体を創ることも考えていく。工芸の分野では、鎌倉彫など鎌倉市等との連携も考えながら、伝統工芸の分野を育てていく。国際文化交流については、音楽芸能、書道、華道、茶道、盆栽など現行の活動について、実施中のあーすフェスタに加え、横浜市の姉妹都市や外国観光客との交流等、市や区とのパイプも繋げ太くしていく。などです。

第二の「新分野への進出」は、今迄に全くなかった活動分野への進出です。まず、一つ目は、栄区の特徴である「自然と文化の豊かさ」をテーマにした未

来指向の街づくりを考え、提案することを目標に掲げた会の創設です。もう一つは、グローバル文化活動。活動自身が今までにない、例えば世界の食文化、民俗的遊び、地球社会での生き方などについて考え理解を深める活動です。会員の国籍、住所は問いません。主にインターネットを介して活動します。



文化協会役員（第22回定期総会にて）

このクラブは6月に既に発足、海外在住の豪州人も参加しています。使用言語は原則、英語です。今後、若人も興味を持って活動出来る環境づくり、「栄区」などの枠に捕らわれない自由度を持たせた運営も必要かと思われま。

最後に第三の「運営の定常化、安定化」について。当協会の運営は、ご存じの通り「常任理事会」が先頭に立って行っておりますが、事務局、企画部、会計等の本部部門は、引き受け手が少なく、思うような運営が出来ない状況にあり、副会長が兼務するという異常かつ厳しい状態にあります。会費を上げて事務局業務を外部に委託することも検討しつつあります。本件は、当協会の存命に係わる問題でもあり、先を見据えて真剣に考えていかなければなりません。皆様のご理解とご協力を切にお願い致します。

以上、中期的目標についてお話しましたが、より充実した生き甲斐のある活動を介して、栄区の文化の向上に寄与していきたいと考えておりますので、みなさま、今後共、ご指導、ご協力、そしてご支援をよろしくお願い致します。

## 音楽フェスティバルとクロージングイベント

区制 30 周年委託事業

栄区音楽協会 橋本 洋子

2016 年度は栄区制30周年記念として「さかえ音楽フェスティバル」、栄区制 30 周年「クロージングイベント・感謝合唱祭」が区より委託された。

1. 「さかえ音楽フェスティバル・開催期間 2016. 9. 18～2016. 12. 17」

2016 年は「区制30周年」と「横浜音祭り」とが重なり音楽で 30 年を祝う期間として各施設あげて音楽の催しが開催された。



フェスティバルのオープニングはリリースで開催、「世代をつなぐ」がテーマ。出演は笠間小学校特別合唱クラブと音楽協会有志合唱団。

当日はリリースの舞台上に栄区の風景が映し出されるなか、「川のある町で」「わが町に寄す」「大地に耳を」の3曲からなる栄区賛歌を大合唱。こどもと大人のハーモニーが会場に響き、まさに「世代をつなぐ合唱」としてオープニングを飾った。後半は器楽代表としてチルコロ・マンドリーノ 40 名が式典を祝い華やかに演奏した。又、12/17 のファイナルは「和」がテーマ、民謡連盟の三味線、邦楽協会のお箏が公会堂ホワイエの観客を楽しませた。

2. 栄区制30周年記念クロージングイベント・感謝合唱祭[2017年3月20日]

「～そしてはじまる未来のさかえ～」をテーマに、こども世代「栄少年少女合唱団・ジブリメドレー」、現役世代「西本郷小学校ハッピー・レインボーコーラス（こどもとPTA）・サウンドオブミュージックメドレー」、シニア世代「栄フロイデ・コール&音楽協会有志・混声合唱のための組曲・旅より」と世代の特色ある合唱を披露した。

フィナーレは3世代の合同、～きみも星だよ、みんな、みんな～とよびかける「COSMOS」を編曲者の富澤裕指揮で約 140 名の歌声が公会堂に響き渡り、客席と合唱団が一つになり～そしてはじまるみらいのさかえ～を象徴した 30 周年のクロージングにふさわしい合唱祭となった。そして観客からも感動で涙がこみ上げたとの感想をいただいた。



両事業とも企画の段階から区の担当者と一緒におすすめ、30周年のイベントを盛り上げる一翼を担った。

## 《栄第九演奏会》

～参加者の思いが結集した迫力、壮観！～ 栄区音楽協会 柴田 隆

「多くの区民が一体となって感動を共有できる場を創設しよう！」という音楽協会内の事業方針に基づき、2005年3月、合唱団 230 名の参加（公募）により第 1 回栄「第九」演奏会を横浜みなとみらい大ホールで開催しました、以来 13 年間にわたりほぼ毎年継続し、本年 2 月 5 日には、栄区制 30 周年記念イベントの締めくくりとして第 10 回演奏会を開催することができました。栄区の第九は＜歌える人のため＞ではなく＜歌いたい人のため＞の第九であることを常に忘れず、どんな初心者でも歓迎するという方針を貫いてきましたが、これまでの合唱参加者がのべ 1650 名にも達したことで目的を達成できたと考えています。

また、10 回の公演のうち 7 回にわたって「栄区賛歌」の演奏を行い、区民の歌の普及に尽力出来たと思います。

栄「第九」演奏会は合唱・児童合唱（100～300名）、オーケストラ（80～100名）、ソリスト・指揮者・ピアニスト（約 10名）、運営組織・スタッフ（20～40名）が、半年以上をかけて作り上げていく事業です。13 年間にわたる関係者のチームワークに万歳！



## “舞に感謝” 三十周年記念大会 舞踊発表会 栄区舞踊連盟 東 光菊

創立30年を記念して今回「舞」をテーマに大会を開催させて頂きました。舞う事が出来る喜びと、観に来て下さる方々が居ることに感謝して舞台を努めました。舞を通して沢山の方々と出会い、色々な場面で活動させて頂ける様になりました。又、会員の絆が深まり大切な仲間ができました。これは舞踊連盟の誇りだと自負しています。

今大会では、「舞の華」「民謡の舞」「舞彩々」の3部構成にし、各会員が日頃の稽古の集大成として観客の皆様にご披露させて頂きました。

「舞彩々」の会主の舞には、それぞれ曲に合った舞台背景を舞台企画に依頼し、舞を引き立てて頂きました。栄区長 小山内いづ美様には、和服姿でご登壇頂くと共に、終演までご高覧頂いた事に大変感謝しております。



梅雨空の中、満席の盛況でした。ご来場下さいました皆様にお礼を申し上げます。これからも、皆様に喜んで頂ける舞台を心掛け、一步一步会員皆で歩んでいこうと思っております。

## 舞踊の会 30回記念 ～四季のうつろい～ 栄区舞踊協会 花吹雪尚公

5月28日栄公会堂に於いて、第30回【舞踊の会】記念大会を開催いたしました。

地域の皆様、関係各位によりますご指導、ご援助によりまして盛會に終えることが出来ました。30周年特別企画～四季のうつろい～。フィナーレでは、会員半分以上の出演ということもあり、練習を重ねることでそこには会員相互の輪が広がりました。

今年は、ご覧いただきました皆様方がまた見たくなる会にしていくことがこれからの課題と、創立時に立ち戻り、すべて手作りにこだわり、横断幕・大道具・粗品等々会議を重ね話し合って創作してまいりました。そして、文化協会の皆様には過大のご協力をいただき、芸能部の皆様による応援出演も趣向を凝らしていただきありがとうございました。

将来を見据えて、会員みんなで助け合い、勉強し、また1からのスタートをしていきたいと思っております。



文化協会設立 20 周年行事終了を機に各単位協会の設立年月日をお聞きし、一覧表にしました。

### ＜単位協会の設立年月日表＞

単位協会名	設立年月日
手工芸・S A K A E	平成14年4月1日
栄区書道協会	平成8年8月16日
栄区園芸協会	平成8年1月
栄区美術連盟	平成13年4月1日
栄区美術家協会	平成5年1月
さかえ陶芸協会	平成8年1月31日
栄区華道協会	昭和54年4月1日
フォトS A K A E	平成23年4月27日
栄区囲碁協会	平成27年4月1日
栄区茶道会	昭和61年7月9日
栄区礼法の会	平成12年3月24日
栄区音楽協会	平成8年1月21日
栄区邦楽協会	平成10年2月1日
栄区舞踊協会	昭和62年6月27日
栄区舞踊連盟	平成1年8月5日
栄区民謡連盟	平成10年4月1日
栄区吟剣詩舞会	平成3年4月1日
栄区吟詠協会	平成26年4月1日

## 栄区民謡連盟 チャリティーショー

栄区民謡連盟 原田直真紗

4月23日(日)栄公会堂において、恒例のチャリティーショー「栄区民謡連盟演奏会」がプログラムのとおり、とどこおりなく行われました。

歌、三味線、津軽三味線、踊り、カッポレ、銭太鼓、と大変バラエティーに富んだもので、お客様からは「楽しかった」という声もいただきましたが、私ども残念に思いますのは、ご来場のお客様の数が少なかった、ということです。

これは気づかぬうちにマンネリになっていたせい、あるいはPR不足だったのかもしれませんが、いずれにしても来年は連盟結成20周年でもあり、これを反省点として思い切った工夫をして頑張ってみようと思っています。



最後になりましたが、ご寄付いただいた16,555円は栄区社会福祉協議会に寄贈させていただきました。

### 栄区文化協会加入団体の震災復興等社会支援活動状況

震災 発生年月 等	団体名	実施時期	概要
熊本地震 2016年4月	栄区文化協会	2016年5月	義援金
新潟県中越地震 2004年4月	栄区音楽協会	2011年3月	義援金
新潟県中越沖地震 2007年7月	栄区少年少女合唱団	2011年3月	義援金
長野県北部地震 2011年3月	矢沢男声合唱団	2011年5月	義援金
	栄フィルハーモニー交響楽団	2011年5月	栄村復興支援：物産購入・販売
	栄音協+栄フィル	2013年11月	栄村復興支援：物産購入・販売
	栄区文化協会音楽・芸能	2013年11月	栄村復興支援：文化交流、物産展
	栄区文化協会	2016年11月	栄村交流ツアー参加（区制30周年記念事業の一環）
東日本大震災 2011年3月	栄区音楽協会	2011年3月	義援金
	栄ソリストィ	2011年5月	義援金
	栄ソリストィ	2012年2月	被災地へピアノをとどける会への義援金
	栄ソリストィ	2017年	被災地へピアノをとどける会への義援金
復興支援	栄区民謡連盟	毎年	チャリティーショー
	栄区舞踊連盟	毎年	チャリティーショー
	栄区美術家協会	毎年	チャリティーバザー
社会支援	栄ソリストィ	2011年6月	乳がん対策ピンクリボンへの義援金
	栄ソリストィ	2010年～ 2015年	栄区社会福祉協議会賛助会費 各3000円
地域ボランティア	栄ソリストィ	～2015年毎月	SELP杜木曜コンサート 年12回（約10年）
	栄ソリストィ	2014年以前	社会福祉法人「訪問の家」（障害者への音楽提供）
	栄ソリストィ	2015年～毎週	さんぼみち水曜コンサート（チャリティ）
			上記「訪問の家」を含み800回

### 編集後記

（表紙の題字「さわやか」は安藤紫水氏の揮毫による）

20周年行事を無事終了し、次の10年に向けての中間目標の推進についての具体的対策を西崎会長が寄稿。単協会員の周年行事イベントへの貢献・活動を紹介し、案外知らない単協の設立年月日を一覧表にした。また、文化協会加入団体の震災復興等の社会支援活動状況を記載した。

さわやか第52号  
平成29年9月20日発行  
栄区文化協会会長 西崎進治  
編集：奥野知行 清水鎌司  
印刷：（有）豊田印刷所